

評 価 基 準

配点方法 : S → 配点×1 A → 配点×0.8 B → 配点×0.6 C → 配点×0.4 D → 配点×0.2

評価項目		評価のポイント	配点
応募動機		<ul style="list-style-type: none"> ○本業務に対する取組意欲や積極性、本市を支援する姿勢や配慮等 <ul style="list-style-type: none"> ・学校再編の目的や意義をどれだけ深く理解し、共感しているか。 ・提案書に熱意や情熱が表れているか。 	10
倫理観		<ul style="list-style-type: none"> ○企業の理念、業務遂行にあたっての判断基準の考え方等 <ul style="list-style-type: none"> ・教育や地域社会の未来に対する責任感を持っているか。 ・学校再編計画に関する法的な要件や教育に関連する法律を理解しているか。 ・意思決定において透明性を保ち、関係者に適切な情報を提供することができるか。 	10
業務実績		<ul style="list-style-type: none"> ○事業者における過去10年間の同種業務又は類似業務の実績 <ul style="list-style-type: none"> ・過去の同種業務又は類似業務を成功させているか。 ・学校施設の長寿命化計画の策定又は策定支援業務の実績があるか。 ・過去の成功事例を基にした具体的なアプローチを有効に示すことができるか。 	10
業務遂行力	資格	<ul style="list-style-type: none"> ○業務責任者及び主担当者の資格保有状況 <ul style="list-style-type: none"> ・本業務を遂行するにあたり、有効な資格（一級建築士、認定ファシリティマネージャー等）を有しているか。 	10
	体制	<ul style="list-style-type: none"> ○業務を遂行するにあたり十分な体制を整えているか。 <ul style="list-style-type: none"> ・本業務に必要な人員を十分に配置できるか。 ・意見交換会が円滑に進むよう配慮（アドバイザー及びファシリテーターの配置等）をしているか。 	10
	実績	<ul style="list-style-type: none"> ○業務責任者及び主担当者の業務実績 <ul style="list-style-type: none"> ・担当者として、過去の同種業務又は類似業務において、有益な実績を上げているか。 ・過去の有益な実績を本業務に活かすことができる役割を担うことができるか。 	10
提案内容	業務実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ○本業務の理解度 <ul style="list-style-type: none"> ・学校再編の目的や社会的意義をどれだけ理解しているか。 ・さまざまな魅力ある学校づくり方針を理解し、これに基づく学校再編計画を策定することができるか。 ・望ましい学校規模、通学距離及び小中学校区の関係ほか、地域コミュニティへの影響など、さまざまな側面を考慮しているか。 ・地域の人口動態、教育ニーズ、住民の意見や期待などを考慮し、再編計画を策定する考えを持ち合わせているか。 	10
		<ul style="list-style-type: none"> ○教育に対する知見 <ul style="list-style-type: none"> ・最新の教育政策、教育の方向性及び未来の展望等に基づく知見を持ち合わせているか。 ・単なる施設の統廃合にとどまらず、教育を支える学習環境の整備に関する知見があるか。 	10
		<ul style="list-style-type: none"> ○各種調査及び分析 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人口動態、学区の状況、学校の施設状況、保護者や地域住民の意見、教育の質や課題、財政状況など、計画に必要なあらゆる情報を包括的に調査、把握ができるか。 ・地域住民や保護者、学校関係者へのヒアリング等を通じて、地域の教育ニーズや意見を収集できるか。 ・調査等の結果をどれだけ深く、精度高く分析できるか。 ・調査等の結果から将来のトレンドや課題を予測できるか。 	5
		<ul style="list-style-type: none"> ○多面的な意見の取り組み、反映の手法 <ul style="list-style-type: none"> ・多様な意見を適切に分類し、共通点や相違点を明確にし、どの意見を反映させるべきかを論理的に整理できるか。 ・収集した意見をどれだけ実際に計画に反映できるか、また、意見が反映されなかった場合、その理由や代替案を関係者にフィードバックできるか。 ・異なる価値観や利益を持つ関係者の意見をどのように調整し、全体として調和の取れた計画に仕上げることができるか。 	5
		<ul style="list-style-type: none"> ○業務工程の妥当性 <ul style="list-style-type: none"> ・タスクやフェーズごとの進行状況が適切に設定されており、時間的に無理がないか、遅延が発生しにくいスケジュールになっているか。 ・業務工程が段階的に整理され、どのタスクが前提条件となっているか、次のステップにどのように繋がるかが明確になっているか。 ・予期しない事態や遅延、変更が発生した際に、迅速かつ効果的に調整できる仕組みが整っているか。 	10
		<ul style="list-style-type: none"> ○業務工程の妥当性 <ul style="list-style-type: none"> ・タスクやフェーズごとの進行状況が適切に設定されており、時間的に無理がないか、遅延が発生しにくいスケジュールになっているか。 ・業務工程が段階的に整理され、どのタスクが前提条件となっているか、次のステップにどのように繋がるかが明確になっているか。 ・予期しない事態や遅延、変更が発生した際に、迅速かつ効果的に調整できる仕組みが整っているか。 	10

評 価 基 準

配点方法 : S → 配点×1 A → 配点×0.8 B → 配点×0.6 C → 配点×0.4 D → 配点×0.2

評価項目	評価のポイント	配点
企画力、独自性	○提案内容の適格性 ・提案内容が学校再編計画の目的や方針と整合しているか。 ・提案の内容が抽象的でなく、具体的な実施方法やステップが示されているか。 ・提案の中で、再編計画における可能性のあるリスク（例：地域住民の反対、予算超過、計画の遅延など）に対する具体的な対策や解決策が示されているか。	10
	○既存の方針及び計画との整合性 ・提案内容がさまざまな魅力ある学校づくり方針や、現行の教育方針と整合しているか。	10
	○学校施設と地域の関係性への配慮 ・学校、保護者、地域の連携を促進する施策が盛り込まれているか。 ・現状の学校の課題と学校規模の適正化による教育条件の改善見通しの共有を進める施策は考えられているか。 ・地域の実情に応じた施設の配置や、再編（更新）後の学校施設が地域全体の発展に貢献する形で提案できるか。	10
	○策定する再編計画の示し方 ・専門的な内容や難解な部分についても、平易な言葉で説明し、写真及び図やグラフを用いて視覚的にも理解しやすくする方法が考慮されているか。 ・地域住民が計画の内容を正しく理解できるよう配慮されているか。	10
	○策定する再編計画の実現性、プロセス ・各ステップやタスクに対して十分な時間が割り当てられ、遅延や過密なスケジュールに陥らない計画案であるか。 ・各ステップの依存関係が明確になっており、前段階が完了しなければ次のステップに進まない、または適切な順序で進行するプロセスが示されているか。 ・計画実行におけるリスク（例：予算超過、時間的遅延、予想外の問題など）に対する対策が十分に示されているか。また、問題が発生した際に柔軟に対応できる仕組みが組み込まれているか。 ・地域住民が計画に対して質問や意見を自由に交換できる場（例：意見交換会、パブリックコメント期間）が設けられているか。	10
提案説明	○本事業への取組姿勢、積極性 ・課題に対して、前向きで実行可能な解決策を提案し、柔軟に対応できる姿勢があるか。 ・情報共有や意見交換を積極的に行い、問題が発生した際に早期に解決策を見つけるために協力的に働ける姿勢があるか。	10
	○説明の分かりやすさ ・計画がなぜ必要なのか、どのようなデータや実績に基づいて進められるのかが明確に説明されているか。 ・専門的な知識や技術的な要素を一般の関係者にも理解しやすく説明し、計画が実現可能であることを効果的に伝えているか。	10
	○提案書の内容との整合性 ・提案書の内容と説明の整合が取れているか。	5
調整能力	○発注者、学校関係者、市民等の意見を効果的に業務に反映する姿勢や配慮 ・学校関係者や地域住民の意見を多角的かつ包括的に収集することができるか。 ・関係者（学校関係者、地域住民など）の懸念や疑問に対して、具体的な対応策を提案することができるか。 ・意見を収集し反映するだけでなく、意見交換後にどのようにフィードバックを行い、関係者に結果を伝える仕組みがあるか。	10
質疑応答	○質問への回答の的確性 ・提案者が質問を正確に理解し、質問の意図を適切に捉えて回答しているか。 ・回答が明確であり、冗長な説明や無駄な情報を含まず、簡潔であるか。 ・回答に対して適切な根拠やデータが示されているか。	10
価格の妥当性	○見積書の妥当性、コスト意識 ・提出された見積りが明確な費用内訳を伴い、どの部分にどれだけのコストがかかるかが明示されているか。 ・見積りが市場相場と比較して低すぎる場合、品質やサービスに問題はないか。 ・提案者が追加費用や予期しないコストについて予測し、それに対応する準備をしているか。	5
合計		200